

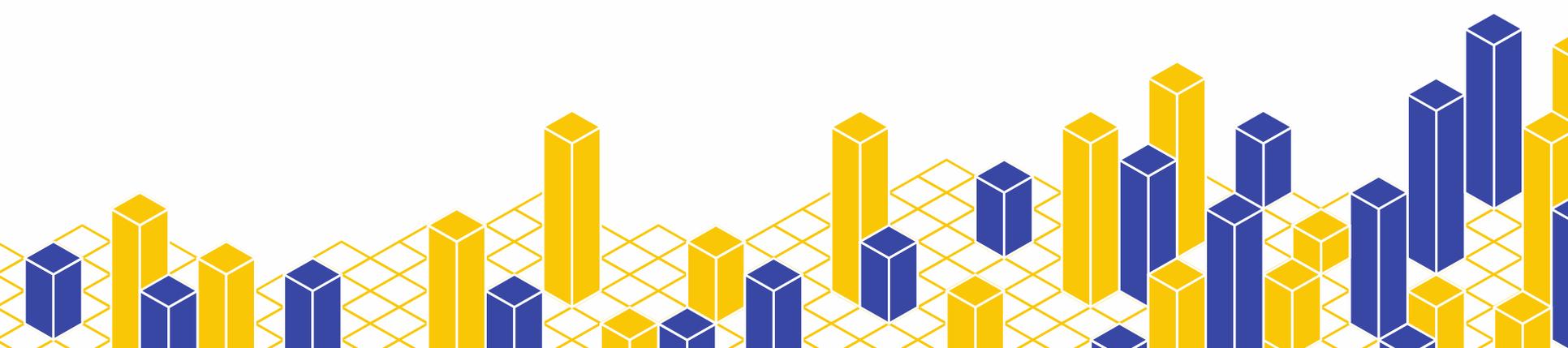


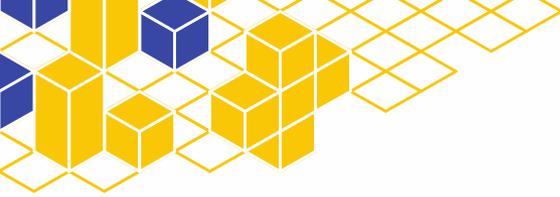
文部科学省・私立大学研究ブランディング事業 成果報告会

2020年3月30日(月)@工学院大学新宿キャンパス

# 広報・普及事業

総合企画部広報課 課長 佐野勇一郎





(1) 過去4年間の概要と成果まとめ

(2) 今年度の成果

(3) 次年度の予定



# 過去4年間の概要(1-2年目)

年度	概要	具体例
2016年度 (初年度)	発信環境の整備	大学内に特設サイト開設。4年間、継続して取り組みの動きを発信。
2017年度 (2年目)	メディアにお披露目	本事業独自のロゴ、テンプレート制定。出展ポスターや開発機器に活用することで、様々な取り組みに統一感を持たせられた。

2016年度作成  
「エリア防災特設サイト」



2017年度作成  
「ブランディング事業ロゴ」



# 過去4年間の概要(3-4年目)

年度	概要	具体例
2018年度 (3年目)	本格的な成果公開・取材開始	成果物(D-ZEV、一時滞在施設開設キット、自衛消防訓練用VR、鉄道運行・避難所の空き状況・天気など地域の情報を知らせるアプリ)のお披露目。防災マニュアル作成、学内展示スペース・サイネージ公開により学内の防災意識向上。
2019年度 (4年目)	学生参画による出展増加と各地からの専門的な取材の増加	防災ポーチ作成の一連の活動や、学外出展により、学生の気付きが深化。次年度活動への動機付けに。

## 2018年度作成

「防災マニュアル」と本学新宿キャンパスでの展示、  
「防災〇×クイズ」(地下道に接するサイネージでの公開)



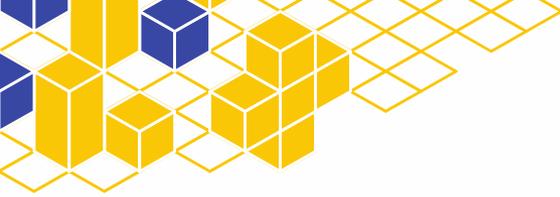
## 2019年度作成

「防災マニュアル(中高版)」



# 4年間の成果まとめ

項目	2016年度 1年目	2017年度 2年目	2018年度 3年目	2019年度 4年目	備考
地域導入検討 [避難所開設 キット] (テーマ1)	0件	0件	新規：1団体 (北区60台)	新規:2団体(熊 本市立の小学 校2校) 検討相談:1件 導入後WS:2自 治体	沖縄から検討依頼有り。 本学の取り組み全体につい て、海外の軍関係からレク チャー依頼有り。
イベント出展 数と参加者数	0件	2件 約1,300名	4件 約1,300名	9件、 約2,030名	イベント運営側から依頼。 継続開催により来場者増加。
メディア掲載 数	146件	211件	149件	180件	取材定着、範囲拡大 (一時的な実験→地震が起 こるたびに取材依頼、地域 →関西・九州、海外)



# 今年度の成果

## (1) イベント出展

9 イベントに出展、全イベント合計来場者数約2,030名

### ① 新宿防災WEEK2019 :のべ1,000名

地域地震防災訓練	防災コミュニケーションツール体験型イベント(テーマ1成果物「VR」体験)
D-ZEV(テーマ3成果物)展示	講演会
“新宿ならではの”炊き出し	サンプリングイベント

② くらしを守る消費生活展:130名以上

③ 防災ポーチづくり(詳細は次ページ):700名以上

④ 震災対策技術展(横浜):200名以上





# 今年度の成果

## (2)防災ポーチ

【準備】会期：2019年5月～11月

運営メンバー：学生約20名

【配布イベント】

会期：2019年11月28日

会場：工学院大学新宿キャンパス、八王子キャンパス

来場者数：学生、教職員 約700名(新宿200名、八王子500名)



2019年度作成  
「防災ポーチ」準備の様子



2019年度作成  
「防災ポーチ」イベント当日の様子（八王子、新宿）



# 次年度の取り組み

## (1) イベント出展

詳細未定、「まとめチラシ」活用。

2019年度作成  
「4年間まとめチラシ」

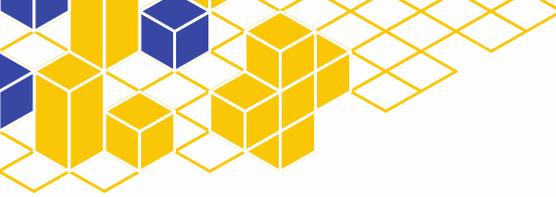
[地域とのイベントは、付加価値の向上を意識]

一般の方：継続実施しているイベントは、参加しやすい。

開催協力者：地域貢献の要素があると、継続参画しやすい。



“地域の繋がりが生まれる” “防災を楽しく考える”発信



# 次年度の取り組み

## (2) 学生の活動

### [学生参加イベント]

中高生と大学生の協力企画：防災関連動画をYouTubeに投稿しているグループ  
(本学附属高校生) との共同企画検討。

防災ポーチ：大学に隣接する地区での活動を模索中。

附属高校生らが子ども向けの防災動画をYouTubeで作成・公開中  
「ちーむべりいぐっと!」と連携



2019年度作成  
「防災ポーチ」新入留学生への配布  
(八王子、2020年4月予定)

